

令和6年度第7回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年11月13日 13時00分～14時00分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長

[事務局]

森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議10月9日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

- (1) 令和6年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催要項について
高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。
- (2) アイーナキャンパス利用状況について
高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。アイーナキャンパスの利用状況は監事監査での指摘事項になっていること、コロナ禍で利用が減少したが少しずつ回復しており、今後も積極的に活用してほしいこと、使用後には報告書を提出してほしいとの補足説明があった。
- (3) 令和6年度全国公立大学学生大会（LINKtopos 2024 in Iwate）及び令和6年度第1回公立大学学長会議等の開催結果について

三上学生支援本部長及び佐藤企画室長から、資料に基づき説明があった。

学長から、LINKtopos について、今後は学生だけでなく、教員も一緒に活動できるとよいつの発言があった。これに対し、三上本部長から、学生だけでは企画が難しい部分もあり、今回、本学からは総合政策学部の教員 3 人が企画に携わったとの発言があった。

(4) (仮称) スタートアップデザインセミナーの開催について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。全学生を対象としているが、特に 1・2 年生に積極的に参加してほしいとの補足説明があった。

(5) 令和 6 年度広報研修会 (大学広報・ブランディング関係) の開催について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。研修を録画し、後日閲覧できるようにする予定であると補足説明があった。

(6) 令和 7 年度公立大学法人岩手県立大学予算編成方針について

米内事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。令和 6 年度までは、新型コロナウイルス感染症対策の項目を立て、シーリングの対象外としていたが、令和 7 年度から通常の感染症対策へ移行するとの補足説明があった。

委員から、物価高騰対策に係る経費の県からの交付の有無について質問があり、米内事務局次長兼総務室長から、物価高騰に係る経費は、資料に掲載している運営費交付金とは別に県と協議を行うとの回答があった。

報告事項 (資料報告)

(1) 「2024 年いわて高校生学び応援プロジェクト 小論文コンクール」審査結果について

(2) 令和 7 年度総合型選抜結果について

(3) 令和 7 年度編入学試験入学手続結果について

(4) 令和 6 年度岩手県立大学大学祭 (鷺風祭 2024) の開催結果について

(5) 令和 6 年度公開講座・滝沢キャンパス講座の開催結果について

(6) 令和 6 年度公開講座・宮古キャンパス講座の開催結果について

(7) 令和 6 年度地区講座 (滝沢市睦大学との連携講座) の開催結果について

(8) 令和 6 年度防災訓練等の実施結果について

(9) 令和 6 年度第 2 回安否確認システム報告訓練の実施結果について

(10) 令和 6 年度第 1 回ハラスメント防止対策研修会の質疑応答等の要旨について

(11) 令和 6 年度第 3 回オープンキャンパス (宮古キャンパス) の開催結果について

(10) について

米内事務局次長兼総務室長から、第 1 回ハラスメント防止対策研修会を録画して動画を公開したが、質疑応答の音声不鮮明であったことから、質疑応答の要旨をまとめたものであるとの説明があった。また、10 月 30 日に開催した第 2 回研修会の動画も共有フォルダに格納しているため、参加できなかった者は閲覧してほしいこと、学部長にはおって未受講者リスト提供するので、受講勧奨を行ってほしいとの補足説明があった。

委員から、質疑応答の要旨に記載されている「注意・指導は 1 対 1 の場面で」との内容に関し、学生に対するハラスメントは 1 対 1 の密室の場面で起こることが多い

ため、1対1の指導は教員同士や職員同士などの場面では有効な場合もあるが、学生に対して指導を行う場合は、密室での1対1という状況はむしろ避けるべきであるとの観点から、当該要旨の記載には疑問があるとの発言があった。

これに対し、他の委員から、1対1の指導について、研修会の中では教員同士や職員同士の場面で、第三者の面前で公然と叱責することは避けるべきとの文脈で説明された内容であり、要旨の記述は誤解を生じ得るため修正した方がよいとの発言があった。

その他

なし